

第2回 十和地域まちづくり推進協議会 会議録要旨

【日 時】 平成29年8月10日（木）午後6時15分～7時30分

【出席者】 武内孝徳委員、山本拓也委員、松下優子委員、山本卓委員、安藤岳委員、中平ゆかり委員、八木敏伸委員、山本大輔委員、松下洋平委員、中野千里委員

【行政側】 竹本地域振興局長、酒井町民生活課長、富田地域振興課副課長、久保地域振興課主任

【事務局】 山中地域振興課総括主幹

会 長・・・安藤岳委員
副会長・・・山本大輔委員

【議事及び質疑応答】

（武内孝徳委員）

コミュニティバスで水曜日らあが今は無い言う話これもだいぶ前の話やけん水曜日の場合まあこれみよったら赤字の話ばかりになるのでそうじゃなく利用する人が良いようにして一人、二人が利用するわけですけどもダイヤ改正とか便を減らしてでも大道については結構回数金曜日ですけども、回数決めてもろうちゅうがですけども、見よったらのりゆう時間帯がきまちょう気がするがです。朝と昼夕方には空で入りゆう気がするがですよ、そこらへんちょっとみてもらおうとゆうか。利用する人はこれからずんずん増えていくと思うがです。免許もちちょう人が高齢になられて車も息子らあが取り上げたい人もおるし、そこらへんもまた、検討してもらおうような感じにしてもらいたいです。

（富田_地域振興課副課長）
水曜日の運行も含めて。

（武内孝徳委員）
含めて。そうゆう意見はできようがです。もう一日どこかでいれて欲しい。

（八木敏伸委員）
バスは何台あるんですか。

（富田_地域振興課副課長）
2台です。

（八木敏伸委員）
2台なら、週に1回を2回にすることはできないか。

（富田_地域振興課副課長）
始めたときに利用する人は週に1回との意見が多かった。ということと、週に何回も走ると利用者が分散する。お年寄りが一緒に行きたいとの意見があった。週二回にして利用が増えるのかという意見があった。

（安藤岳委員）
今利用している人から回数を増やす要望はないか。

(富田_地域振興課副課長)

わかりかし利用している人からはないです。実は毎年、利用者座談会を昼食付きで、去年はできなかつたが、その利用者も自分たちが公用車で迎えに行ってお年寄りを集めて話を班別に分けて聞くが、わかりかしいです。

(安藤岳委員)

今の状態でいいよ。ということじゃないでしょうか。

(松下優子委員)

去年の情報なので最新ではないんですが、お年寄りの方が朝は汽車の時間にあわせてくれてすごい早い便があるので助かるというのは聞いたことがある。次の便とかで出て行って次帰る便の間がすごく長くて買い物したら用は終わるけど、帰りの便が無いので結局タクシーを呼ぶとかという感じでは聞いたことはあります。

(富田_地域振興課副課長)

もともとが JR の始発便と最後の便にあわせて間に4、5便入れる様なかたちをとっていた。そうするとどうしても間があいてしまうところがでてしまう。朝は診療所にもニーズがあるのでどうしても朝早くが集中する。JR の最終便を利用する人がいないのではないかということで、全体を凝縮してはどうかという意見があって見直しをしているところです。

(山本大輔委員)

この年代で交通手段のことをはなしたところで、あまりピンときてないと思う。今後に向けて数は減ることはないというところで利用者数が増えていくと思う。その時に新たなる交通手段としてどうしたほうがいいのかとか、赤字の拡大を防ぐということはいずれ縮小される事もあるんじゃないかと思うんですが、そのための特殊な税金を作るとか例えばそういう話をしたほうが、僕ら世代であんまりリアル感がないのではないかと。

(松下洋平委員)

栃木かどこかのふるさと納税でヤクルトレディを雇って2週間に1回ヤクルトを配って結果報告を実際に納税者にするというところを行っているみたいです。四万十町のふるさと納税は商品なので、サービス自体があまり無いなということがあって、四万十町全体で見れば十和だけじゃなくてそういう物も検討してみても。デマンドタクシーとか、バスの路線を増やしたりとかも補えるものがあるかもしれないと思う。

(富田_地域振興課副課長)

ふるさと納税でヤクルトを配る

(松下洋平委員)

ヤクルトレディさんを雇って見守りを行う。2週間に1回ご自宅まで行って配ったその時の状況を確認し納税者の方にメールを送信している。

(山本拓也委員)

出来るだけ密に出来ればほぼ毎日に増やす方向にしてもらいたい。自分は飲み会に使いたい但实际上使ったことはない。例えば1便延ばしてもちょっとまったら次来るくらい密になるのが自分の理想ではあります。でもそこには経費が発生するし、でも密にやっていたら逆に高齢者という失礼ですけど、車が無いと動けないという人が車をこの際にそういう便ができたなら切り替えろとかいう免許の返納にもつながるろうし、高齢者に限らず例えば子供が友達と遊びに行きたいときに利用するとか、自分たちも今日は使わしてもらおうかなというとき使いやすくなるかなということで、利用が増えてきたら収入も増えて、4、5台ぐらいにしてもらって、そこに雇用が発生するのではないかなと。計算はまったくしてないですが、費用が莫大に増えるかもしれませんが、自分の理想としては、出来るだけ便も本数も増やしてもらって乗りやすい環境にもらえたらありがたいなど。乗り換えがめんどくさいと思うがですけど、やっぱこう見たとき、十川と昭和の線が毎日あるので切り離して便を増やすのであれば、密になることを考えてもらいたいと思います。一回乗ったら目的地まで、そ

れが診療所やったら乗り換えせんとに行きたいという心理はあると思うがですけど、例えば、診療所行きを1便4台常時入って行くところをつくって1便は、例えば大道から今日は診療所行き、この曜日は大道組が多いねとか。それプラス路線を使いながら増やしてもらえればと思う。

(富田_地域振興課副課長)

難しいのが、利用者のニーズの時間帯が重なってしまう。昔は間延びした路線バスが多かった。例えば、朝一広井に行って出てきたバスが大道に入って大道につくのが10時くらいになって、例えばの話ですが。いろんなところを回って行って、だけど、利用したい人のニーズはどこにあるかという。例えば、朝一番にあるとか。だから、必然的にその時間帯にも何台も行ってしまうということ。それから、ダイヤ数を見直しても経費の大半は運転手の待機時間も含めた人件費に要してしまうということ。こういったなか、見直しが難しいのが現実的にあるかもしれない。意見は聞きます。

(武内孝徳委員)

奥大道については大体利用している人は決まっている。簡単に言えば、電話で予約したら迎えに来てくれるぐらいになれば理想的とは思う。時間帯にしてもそれに合して他の人も利用する。

(富田_地域振興課副課長)

町として心配しているのがタクシーです。2社あったのが1社になって、急に移動したい時に対応しきれないというのがある。

(竹本_地域振興局長)

現実的な話として、お年寄二人家族で、一人は町外の施設に入院していて危篤の状態になったら電話がかかってきて、その日がちょうど日曜日でタクシーがないということで困って救急車に電話してお願いしたという現実の話もありますので、タクシーが日曜日休みでするのでそこらへんもまた考えていきたいと思う。

(松下洋平委員)

実際タクシーだけで働こうとすれば、どれくらい利益として出ているのか。気持ちとしてはやっつけたいというのがあるんだと思うんですが、はたして自分が生活にしていけるかどうかという心配なところもあると思うんです。タクシーのデータとかはないですか。

(富田_地域振興課副課長)

なかなか試算できない。

(山本拓也委員)

ダイヤは変えるのか。

(武内孝徳委員)

ダイヤも変へ便も変えるのか。

(富田_地域振興課副課長)

今回は予算の枠組みの中で変えます。年度途中でもあるため。

(武内孝徳委員)

計上されている予算は本当の金額か。

(富田_地域振興課副課長)

かかっています。

(武内孝徳委員)

ほとんど人件費ではないか。

(富田_地域振興課副課長)
たぶん7割が人件費です。

(山本拓也委員)
満車で全便走ったとしてもマイナスになるのでは。

(富田_地域振興課副課長)
路線バスが満車で走ればマイナスではないと思う。コミュニティバスはマイナスになると思う。

(武内孝徳委員)
路線バスに乗っているのを見たことが無い。時間帯によるかもしれないが。

(富田_地域振興課副課長)
路線バスは実際乗っていない。

(武内孝徳委員)
JRがあるから。けどこういうお金があるので四万十交通は、バスも買える。

(富田_地域振興課副課長)
買うのにも補助金がでる。

(武内孝徳委員)
観光でないと儲けにならない。

(富田_地域振興課副課長)
赤字補填でしかないため。

(山本拓也委員)
コミュニティバスがあるので路線バスには乗らないという人もいるのでは。

(富田_地域振興課副課長)
もともと路線バスが皆無に等しかった。コミュニティバスができたので路線バスが減ったということはない。

(山本拓也委員)
時間的にはそんなに変わらないのか。

(富田_地域振興課副課長)
全然違います。

(富田_地域振興課副課長)
あっさり思うのは、路線バスの十和、大正間を取りやめて、その分1, 200万円でタクシーを運営すればよいのでは。

(山本大輔委員)
これをここで話したって意味がない。

(武内孝徳委員)
あいあい自動車は、全国でやっているのか。

(富田_地域振興課副課長)
部分的にやっている。自治体によって全然違う。

(松下優子委員)

四万十町では行っていく考えはないか。

(富田_地域振興課副課長)

勉強していく考えでいる。

(松下優子委員)

バス、タクシーが無いときは、民生委員にお願いしている。

(富田_地域振興課副課長)

会長、時間的なこともあるので、今日でていた意見を整理して次回示して、町長からこれについて話してほしいと求められているので、この会の意見としてもう少し肉付けするかどうか次回の前段でもさしてもらおうのはどうでしょう。

(武内孝徳委員)

山本拓也委員の気持ちを尊重して、台数増やしてお金も出してもらおう。

(富田_地域振興課副課長)

良いと思う。予算のことは分からないけど、こうという意見でも構わないと思う。

— 終 了 —